

グローバル文化コース オンライン講座概要

■ 第1回 11月12日(土) 13:00~14:10

市川哲「名古屋みやげとは何か? :観光文化研究への招待」

「名古屋は観光地ではない」「名古屋には魅力がない」「もっと名古屋の魅力を外に発信しなければならない」とよく言われます。しかし名古屋の魅力とは何でしょうか?本講義では典型的な観光地とは言えない名古屋における「みやげ」の特徴について観光的に説明し議論します。それにより、名古屋という地域の特徴や観光を通じた文化研究の方法について講義します。

吉永和加「なぜ、ひとは孤独ではられないのか」

近年、SNSの発達、コロナ禍などによって、人と人の付き合い方が変わってきています。一人でのいることも増え、それを気楽だと感じている人もいるでしょう。しかしそんな人も、孤独でいることが辛く、耐えられない、と思うこともあるのではないのでしょうか。そこで、人との緊密な付き合いを熱烈に求めながら、それが適わず孤独を選んだルソーをひもとき、「なぜ、ひとは孤独ではられないのか」を考えてみたいと思います。

■ 第2回 12月3日(土) 13:00~14:10

平田雅己「1967年イントレピッド号脱走米兵事件から考える反戦と平和」

今から約半世紀前、ベトナム戦争時代の日本で、明確な反戦意思を示して米海軍兵士4名が横須賀の在日米軍基地から脱走するという衝撃的な事件が発生しました。事件に関わった元兵士への聞き取り内容や彼らを第三国に出国させる手助けをした日本の反戦団体メンバーの証言などから、人間が戦争に反対するという行為、そしてあるべき平和のかたちについて考えます。

川本徹「この西部劇はどこの国で作られましたか:映像文化論の面白さ」

西部劇は当然アメリカ映画...ではありません。イタリアの西部劇、いわゆるマカロニ・ウェスタンには有名ですが、その他の多くの国でも西部劇は作られてきました。また、映画誕生以前からアメリカ西部はヨーロッパの文化人の注目を集めていました。本講座では「もっともアメリカ的な映画ジャンル」と見られがちな西部劇にひそむ、意外にグローバルな歴史を浮き彫りにします。